

「ふれあい学習」実施要綱

1 目的

障がい者等が学校を訪れ、自身の体験や生き方等を話し児童・生徒とかわることで、誰もが暮らしやすい地域に児童・生徒が関心を高めるとともに、様々な人とのコミュニケーションを通じて「自分自身の生き方」や「他人を尊重する姿勢」の気づきの機会を創出することを目的とする。

2 実施主体

県・市町村社会福祉協議会及び「ふれあい学習」を希望する学校

3 対象

県内小・中・高等学校の児童・生徒（保護者等の参加も可）

4 申し込み方法

「ふれあい学習」を希望する学校は、地元市町村社会福祉協議会と協議をし、あらかじめ希望する講師を選定し「ふれあい学習」開催申込書を県社協宛提出する。

5 実施方法

- ① 事前に講演テーマに関する学習を行う
- ② 講師に関しての配慮、プロフィールなど事前学習を行う
- ③ 「ふれあい学習」を実施することの意義を教職員で話し合う
- ④ 「ふれあい学習」を実施することの意義を学校内で話し合う
- ⑤ 講師に、学校の状況を伝えておく
- ⑥ 「ふれあい学習」後、学校や学級等で講演テーマに関する“ふり返り学習”を行う（話し合いや感想文を書く等）

6 経費

- ① 講師謝金は1時限5千円、2時限8千円とする
- ② 講師交通費は講師所在地から学校までとする
(県社協旅費規程による)
※予算により打ち切る場合がある

7 報告

市町村社協はふれあい学習終了後、30日以内に「ふれあい学習」当日の写真数点及び実施内容がわかるものを市町村社協経由で提出すること。

「ふれあい学習」開催申込書

- 1 対象学年 ()
- 2 対象予定人数 ・児童・生徒数 名
・教職員 名
・保護者 名
・地域の方 名
- 3 開催予定年月日 ()
- 4 開催予定学校住所 (〒)
- 5 予定講師名 ()
講師の主な活動 ()
予定講師住所 (〒)
- 6 講演テーマ

上記のとおり申し込みます。

[] 社会福祉協議会 殿

令和 年 月 日

学校名

担当教諭名

(連絡電話番号)

「ふれあい学習」実施報告書

1 実施校名

実施学校名 (担当者名)	
住 所	〒
電話番号・FAX	TEL : FAX :

2 参加者数 児童・生徒数 名、教職員 名、保護者 名

3 開催年月日

令和 年 月 日 () 時 分～ 時 分

4 講師名

フリガナ	
氏 名	

講 師 住 所 :

講 師 電 話 番 号 :

謝金等振込先口座 :

5 講演テーマ

6 ふれあい学習の内容 (具体的な流れと状況)

--

※ 写真や感想文があれば2～3枚添付してください。